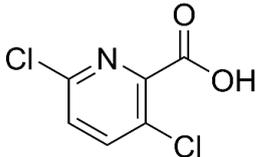
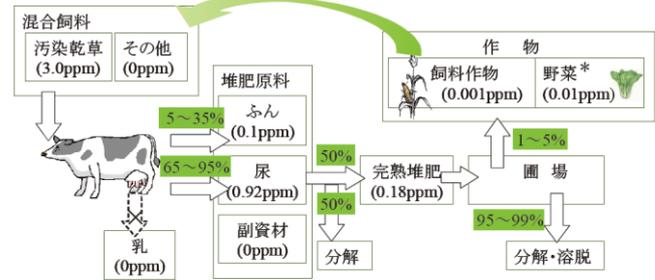


名称	クロピラリド (Clopyralid)										
構造											
用途	除草剤										
作用機構	・ホルモン型の除草剤であり、オーキシン作用を攪乱することにより、除草効果を示すと考えられている。										
登録状況	・国内の登録はなし。米国、カナダ、豪州等で麦類、牧草、とうもろこし等に登録あり。										
農業生産系における動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クロピラリドを成分とする除草剤が散布された牧草等には、クロピラリドが残留する。</li> <li>・クロピラリドを成分とする除草剤が使用された輸入飼料を給与された家畜のふん尿に移行する。なお、牛乳や肉等にはほとんど移行しない。</li> <li>・クロピラリドは難分解性で、堆肥化しても分解が進まず、堆肥中のクロピラリド濃度はほとんど変化しない。</li> <li>・クロピラリドが残留した堆肥を施用すると、感受性の高い植物が異常生育を起こすことがある。</li> </ul> 										
作物感受性 (被害の受けやすさ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物によってクロピラリドに対する感受性は異なり、敏感な植物については、数 ppb<sup>注)</sup> という非常に低い濃度で異常生育が発生する可能性がある。</li> <li>・最も感受性の高い植物は、主にナス科、マメ科、キク科、セリ科に属する。一方、イネ科の麦・牧草・トウモロコシ、アブラナ科のキャベツ、ブロッコリー、ハクサイ、果樹類などには、通常の施用量であれば影響しない。</li> </ul> <p>注) ppb (ピーピーピー) とは 10 億分の 1 の濃度の単位で、非常に微量な濃度を表す単位である。単位の表し方として、1ppb=1μg/kg=1mg/t は同じになる。</p> <p><b>クロピラリドに対する耐性*</b></p> <table border="1"> <tr> <td>極弱：</td> <td>トマト類**、ダイズ、エダマメ、サヤエンドウ、ソラマメ、スイートピー、クリームゾンクローバー、キク、ヒマワリ、マリーゴールド、コスモス、アスター、ダリア、ニンジン、ケイトウ</td> </tr> <tr> <td>弱：</td> <td>ナス、ピーマン、シトウ、ペチュニア、サヤインゲン、エンダイブ、ガーベラ、トレビス、シュンギク、レタス類***、フキ、ヒャクニチソウ、セロリ</td> </tr> <tr> <td>中：</td> <td>バレイショ、タバコ、ラッカセイ、アズキ、リョクトウ、ササゲ、ルビナス、ゴボウ、ペニバナ、オステオスペルマム、パセリ、イタリアンパセリ、ミツバ、キュウリ、メロン、トウガン、ニガウリ、スイカ、ズッキーニ、ソバ、オクラ、モロヘイヤ、ツルムラサキ、ヒユナ、リンドウ</td> </tr> <tr> <td>強：</td> <td>アブラナ科、ユリ科、ヒユ科****、シソ科、ナデシコ科、ヒルガオ科、バラ科、ニラ、トルコギキョウ、パンジー、プリムラ、キンギョソウ、デルフィニウム、ラナンキュラス、ニチニチソウ、ペゴニア、インパチエンス</td> </tr> <tr> <td>極強：</td> <td>イネ科</td> </tr> </table> <p>* 品種により耐性評価のランクが変動する場合がある  ** トマト類：ミニトマト、中玉トマト、大玉トマト  *** レタス類：結球レタス、サニーレタス、グリーンリーフ、ロメインレタス、チマサンチュ、サラダ菜、ステムレタス  **** APGIV分類体系に従い、「アカザ科」から「ヒユ科」に変更する</p>	極弱：	トマト類**、ダイズ、エダマメ、サヤエンドウ、ソラマメ、スイートピー、クリームゾンクローバー、キク、ヒマワリ、マリーゴールド、コスモス、アスター、ダリア、ニンジン、ケイトウ	弱：	ナス、ピーマン、シトウ、ペチュニア、サヤインゲン、エンダイブ、ガーベラ、トレビス、シュンギク、レタス類***、フキ、ヒャクニチソウ、セロリ	中：	バレイショ、タバコ、ラッカセイ、アズキ、リョクトウ、ササゲ、ルビナス、ゴボウ、ペニバナ、オステオスペルマム、パセリ、イタリアンパセリ、ミツバ、キュウリ、メロン、トウガン、ニガウリ、スイカ、ズッキーニ、ソバ、オクラ、モロヘイヤ、ツルムラサキ、ヒユナ、リンドウ	強：	アブラナ科、ユリ科、ヒユ科****、シソ科、ナデシコ科、ヒルガオ科、バラ科、ニラ、トルコギキョウ、パンジー、プリムラ、キンギョソウ、デルフィニウム、ラナンキュラス、ニチニチソウ、ペゴニア、インパチエンス	極強：	イネ科
極弱：	トマト類**、ダイズ、エダマメ、サヤエンドウ、ソラマメ、スイートピー、クリームゾンクローバー、キク、ヒマワリ、マリーゴールド、コスモス、アスター、ダリア、ニンジン、ケイトウ										
弱：	ナス、ピーマン、シトウ、ペチュニア、サヤインゲン、エンダイブ、ガーベラ、トレビス、シュンギク、レタス類***、フキ、ヒャクニチソウ、セロリ										
中：	バレイショ、タバコ、ラッカセイ、アズキ、リョクトウ、ササゲ、ルビナス、ゴボウ、ペニバナ、オステオスペルマム、パセリ、イタリアンパセリ、ミツバ、キュウリ、メロン、トウガン、ニガウリ、スイカ、ズッキーニ、ソバ、オクラ、モロヘイヤ、ツルムラサキ、ヒユナ、リンドウ										
強：	アブラナ科、ユリ科、ヒユ科****、シソ科、ナデシコ科、ヒルガオ科、バラ科、ニラ、トルコギキョウ、パンジー、プリムラ、キンギョソウ、デルフィニウム、ラナンキュラス、ニチニチソウ、ペゴニア、インパチエンス										
極強：	イネ科										

参照：「飼料及び堆肥に残留する除草剤(クロピラリド)の簡易判定法と被害軽減対策マニュアル(第3版)」(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構)